

改訂日 2026年04月13日(第15版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	センチネル顆粒水和剤
デザインコード	A10006A
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海1丁目8番10号オフィスタワーX 21階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
Eメールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
急性中毒の緊急問い合わせ先	日本中毒情報センター 中毒110番 一般市民向け受信相談(無料): 大阪(365日・24時間): 072-727-2499 つくば(365日・24時間): 029-852-9999 医療機関専用有料電話(Syngenta負担): 大阪(365日・24時間): 072-726-9923 つくば(365日・24時間): 029-851-9999
推奨用途	殺菌剤
使用上の制限	推奨用途以外の用途に使用する場合は、専門家の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	
急性毒性(経口)	区分4
生殖毒性	区分2
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(肝臓)
水生環境有害性 短期(急性)	区分1
水生環境有害性 長期(慢性)	区分1
GHSラベル要素	
絵表示又はシンボル	



注意喚起語	警告
危険有害性情報	H302 飲み込むと有害。 H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。 H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器(肝臓)の障害

注意書き 安全対策	のおそれ。 H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
応急措置	P203 使用前に全ての安全説明書を入手し、読み、従うこと。 P260 粉じんを吸入しないこと。 P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。 P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護手袋を着用すること。 P301+P317+P330 飲み込んだ場合：医療処置を受けること。口をすすぐこと。 P318 ばく露またはその懸念がある時、医学的助言を求めること P319 気分が悪い時は、医療処置を受けること P391 漏出物を回収すること。
保管	P405 施錠して保管すること。
廃棄	P501 内容物/容器を都道府県/政令指定都市等の規則に従って廃棄すること。
GHS 分類に該当しない他の危険有害性 重要な徴候及び想定される非常事態の概要 知見なし	粉じん雲の濃度が爆発範囲に入るおそれがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法(ENCS)/ 安衛法(ISHL)番号
シプロコナゾール	94361-06-5	40.0	-
1-(メチルチオ)ドデカン	3698-89-3	>= 0.1 - < 0.25	-
N-メチル-2-ピロリドン	872-50-4	>= 0.1 - < 1	5-113 8-(1)-1014 / 8-(1)- 1013

4. 応急措置

一般的アドバイス	緊急連絡先、中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意すること。
吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移す。 呼吸が不規則または停止している場合は、人工呼吸を行う。 患者を暖かく安静にしておく。 直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣服を脱がせる。 直ちに多量の水で洗い流す。 皮膚の炎症が続く場合は、医師に連絡する。

眼に入った場合	汚染された衣服は再使用する前に洗濯する。 直ちに、最低 15 分間はまぶたの内側も含め、多量の水ですすぐ。 コンタクトレンズをはずす。
飲み込んだ場合	直ちに医師の診察を受ける必要がある。 飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受け、この容器ないしラベルを見せる。無理に吐かせない。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	既知または予期される症状はない。 知られていないか予想されない症状。 飲み込むと有害。 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。
医療関係者への情報	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。 特定の解毒剤はない。 対症療法を行う。

5. 火災時の措置

消火剤	小規模火災時： 水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用する。 大規模火災時： 耐アルコール性泡消火剤、水噴霧
使ってはならない消火剤	棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。
特有の危険有害性	可燃性有機成分を含有するため、火災により危険有害な燃焼生成物を含む濃い黒色の煙が生成する(「10. 安定性及び反応性」参照)。
有害燃焼副産物	分解生成物へのばく露は健康を害する可能性がある。 炭素酸化物 窒素酸化物(NOx) 塩素化合物 硫黄酸化物
特有の消火方法	火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止する。 水を噴霧して密閉容器を冷却する。
消火を行う者の保護	完全な保護服と自給式呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する予防措置	「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い必要に応じて保護具を着用する。 粉じんの発生を避ける。
------------	--

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	河川または下水システムに排水しない。 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
------------	---

封じ込め、浄化の方法及び機材

除去方法

漏出物を閉じ込め、防爆型電気掃除機または湿ったブラシにより集め、地域/国の規則に従い廃棄するために容器に入れる（「13. 廃棄上の注意」を参照）。
 ブラシや圧縮空気を使用することによって、粉末煙を発生させてはならない。
 汚染面を十分に浄化する。
 洗剤で拭く、溶剤は避ける。
 汚染された洗浄水を保管し、処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

本剤は可燃性の粉じん雲を空气中に形成し、それに着火すると粉塵爆発が起こる可能性がある。炎、高温面、火花や静電放電が着火源となりうる。本剤の燃焼特性から電気装置は静電気対策を施すこと。微量の可燃性溶媒を含有したり、可燃性溶媒が存在したりする場所での取り扱いによっては燃焼特性は激化する。
 一般的に、本剤を取り扱う作業員および装置はアースすること。絶縁性のプラスチックの使用は避けること。本剤を入れるフレキシブルコンテナ(FIBC)はタイプ B、タイプ C またはタイプ D を用いること。タイプ C の場合、粉体が帯電・放電しないようにアースしなければならない。本剤を取り扱うプロセス中、集塵のためのバグフィルターを用いる場合、導電性があり、使用中アースをとっていることが必要である。金属製ドラムもしくはファイバードラムを容器として用いる場合、充填機器に金属部品が付いていて、アースしていることをよく確かめること。
 本剤は、ほとんどの作業で帯電する。
 皮膚や眼への接触を避けること。
 使用中は飲食及び喫煙を禁止する。
 個人保護については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照する。
 知見なし

接触回避

保管

安全な保管条件

容器を密閉して、乾燥した、涼しく換気の良い場所で保管する。
 子供の手の届かないように保管する。
 食品、飲料水、動物の餌から離しておく。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度

成分	CAS 番号	指標	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
シプロコナゾール	94361-06-5	TWA	0.4 mg/m ³	Syngenta(2025 年)
N-メチル-2-ピロリドン	872-50-4	OEL-M	1 ppm 4 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度 2025 年)
		TWA	40 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度 2023 年)

詳細情報: 経皮吸収

生物学的職業暴露限度

成分	CAS 番号	対象物質	生物学的試料	試料採取時期	許容濃度	出典
N-メチル-2-ピロリドン	872-50-4	5-ヒドロキシ-N-メチル-2-ピロリドン	尿	シフト終了時(暴露停止後できるだけ早く)	100 mg/l	ACGIH BEI

設備対策

ばく露が避けられない場合、密閉および/または隔離することが、技術的に最も確実な防御手段となる。
 保護対策の範囲は、使用時のリスクによって異なる。
 空気濃度を管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度値以下に保つ。
 必要に応じて、追加の労働衛生に関連する情報を求めること。

保護具
呼吸用保護具

通常、呼吸用保護具は必要ない。
 労働者がばく露限界値を超える濃度にさらされる場合、適切な認定を受けたマスクを着用する。

手の保護具

材質
 破過時間
 手袋の厚さ
 備考

ニトリルゴム
 >480min
 0.5mm
 保護手袋を着用すること。適切な手袋を選ぶには、素材のみでなく、その他の品質に関する特徴を考慮する。製造者によっても違うので、その点にも注意する。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。破過時間は、素材の特徴の中でも、手袋の厚さと種類によって決定されるので、その時々測定されなければならない。手袋に劣化または薬品の浸透を示す兆候がわずかにでもある場合は、手袋を破棄し取り替えなければならない。

眼の保護具

特別の保護具は必要ない。
 必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適した身体防具を選ぶには、そのタイプ、危険物質の濃度や量そして特定の作業場を考慮する。

保護対策

汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。
 微粒子不浸透性保護服を必要に応じて着用する。
 個人用保護具ではなく技術的対策を優先すること。
 個人用保護具の選定については専門家のアドバイスを求めること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
色	褐色
臭い	無臭
臭いのしきい(閾)値	データなし
融点/凝固点	データなし

沸点, 初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性(固体、気体)	粉じん雲の濃度が爆発範囲に入るおそれがある。
爆発下限界及び爆発上限界 ／可燃限界	
爆発範囲の上限 / 可燃上 限值	データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下 限值	データなし
引火点	データなし
分解温度	データなし
pH	9.4(20 %水懸濁液)
蒸発速度	データなし
燃焼価	5 (20 °C)
かさ密度	データなし
自然発火温度	データなし
最低点火温度	450 °C
溶解度	
水溶性	データなし
溶媒に対する溶解性	データなし
n-オクタノール／水分配係 数(log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度 密度	データなし
かさ密度	0.520 g/cm ³
相対ガス密度	データなし
見掛け比重	0.6
爆発特性	爆発性なし
酸化特性	本製品は酸化性物質としては分類されない。
自己発熱性化学品	データなし
表面張力	データなし
最低点火エネルギー	3 - 10 mJ
粒子サイズ	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	合理的に予想できるものは、なにもない。
化学的安定性	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
避けるべき条件	指示通り使用すれば分解しない。

混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	危険な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報成分の情報

可能性のあるばく露経路の情報	飲み込んだ場合 吸入した場合 皮膚に付着した場合 眼に入った場合
----------------	---

急性毒性
飲み込むと有害。

製品

急性毒性(経口)	LD50 (ラット, オスおよびメス): 1,010 mg/kg
急性毒性(吸入)	LC50 (ラット, オスおよびメス): > 1.89 mg/l ばく露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト この物質または混合物は急性の吸入毒性はない。
急性毒性(経皮)	LD50 (ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg この物質または混合物は急性の皮膚毒性はない。

成分

シプロコナゾール

急性毒性(経口)	LD50 (ラット, オス): 350 mg/kg
急性毒性(吸入)	LC50 (ラット, オスおよびメス): > 2.03 mg/l ばく露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト この物質または混合物は急性の吸入毒性はない。
急性毒性(経皮)	LD50 (ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg この物質または混合物は急性の皮膚毒性はない。

1-(メチルチオ)ドデカン

急性毒性(経口)	LD50 (ラット, メス): > 2,000 mg/kg この物質または混合物は急性の経口毒性はない。
----------	---

N-メチル-2-ピロリドン

急性毒性(経口)	LD50 (ラット): 4,150 mg/kg
急性毒性(吸入)	LC50 (ラット): > 5.1 mg/l ばく露時間: 4 h 試験環境: 粉じん/ミスト この物質または混合物は急性の吸入毒性はない。
急性毒性(経皮)	LD50 (ウサギ): 8,000 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

製品

種	ウサギ
結果	皮膚刺激なし。

成分

試験タイプ 局所リンパ節増殖試験 (LLNA)

結果 マウス

試験タイプ 皮膚感作物質ではない。

生殖細胞変異原性

データが不足しているので分類されていない。

成分

シプロコナゾール

生殖細胞変異原性 - アセスメント 動物実験では遺伝子の突然変異への影響はなかった。

1-(メチルチオ)ドデカン

生殖細胞変異原性 - アセスメント In vitro試験で、突然変異誘発性が示されなかった

N-メチル-2-ピロリドン

生殖細胞変異原性 - アセスメント 動物実験では遺伝子の突然変異への影響はなかった。

発がん性

データが不足しているので分類されていない。

成分

シプロコナゾール

発がん性 - アセスメント 動物検査において発がん性の証拠はない。

N-メチル-2-ピロリドン

発がん性 - アセスメント 動物検査において発がん性の証拠はない。

生殖毒性

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。

成分

シプロコナゾール

生殖毒性 - アセスメント 動物実験によると発育に悪影響があることが一部立証されている。

N-メチル-2-ピロリドン

生殖毒性 - アセスメント 動物実験によると発育への悪影響が明確にある。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データが不足しているので分類されていない。

成分

N-メチル-2-ピロリドン

アセスメント この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、単回ばく露、気道炎症を伴う区分3に分類される。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

長期にわたる、又は反復ばく露により臓器(肝臓)の障害のおそれ。

成分

シプロコナゾール

標的臓器

肝臓

アセスメント

この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質、反復ばく露、区分2に分類される。

N-メチル-2-ピロリドン

アセスメント

この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

データは確定的であるが分類には不足しているため分類されていない。

誤えん有害性

データが不足しているため分類されていない。

成分

1-(メチルチオ)ドデカン

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品

魚毒性

LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): 15 mg/l

ばく露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 44.2 mg/l

ばく露時間: 48 h

藻類/水生植物に対する毒性

ErC50 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): 18.7 mg/l

ばく露時間: 72 h

最大無影響濃度 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)): 10 mg/l

エンドポイント: 成長速度

ばく露時間: 72 h

成分

シプロコナゾール

魚毒性

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 19 mg/l

ばく露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 26 mg/l

ばく露時間: 48 h

藻類/水生植物に対する毒性

EC50 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): 0.077 mg/l

ばく露時間: 96 h

最大無影響濃度 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): 0.021 mg/l

ばく露時間: 96 h

ErC50 (Lemna gibba (イボウキクサ)): > 0.2 mg/l

ばく露時間: 7 d

最大無影響濃度 (Lemna gibba (イボウキクサ)): 0.025 mg/l

エンドポイント: 成長速度

ばく露時間: 7 d

M-ファクター (水生環境有害性短期(急性))

10

魚毒性 (慢性毒性)

最大無影響濃度 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 0.305 mg/l

ばく露時間: 93 d

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性)

最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.023 mg/l

ばく露時間: 21 d

M-ファクター (水生環境有害性長期(慢性))

1

1-(メチルチオ)ドデカン

魚毒性

LC50 (魚類): 0.115 mg/l

	ばく露時間: 96 h
	OECD Toolbox、DEREK、VEGA QSAR モデル(シーザーモデル)等を用いる SAR/AAR アプローチに基づいて算定されている。
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.028 mg/l
	ばく露時間: 48 h
	OECD Toolbox、DEREK、VEGA QSAR モデル(シーザーモデル)等を用いる SAR/AAR アプローチに基づいて算定されている。
	EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.16 mg/l
	ばく露時間: 48 h
M-ファクター (水生環境有害性短期(急性))	10
M-ファクター (水生環境有害性長期(慢性))	10
N-メチル-2-ピロリドン	
魚毒性	LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 500 mg/l
	ばく露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 1,000 mg/l
	ばく露時間: 24 h
藻類/水生植物に対する毒性	EC50 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): > 500 mg/l
	ばく露時間: 72 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性)	最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 12.5 mg/l
	ばく露時間: 21 d
残留性・分解性	
成分	
シプロコナゾール	
生分解性	易分解性ではない。
水中での安定性	分解半減期: 5 d (20 °C) 製品は持続性ではない。
1-(メチルチオ)ドデカン	
生分解性	易分解性ではない。
N-メチル-2-ピロリドン	
生分解性	易分解性
生体蓄積性	
成分	
シプロコナゾール:	
生体蓄積性	生物濃縮されない。
N-メチル-2-ピロリドン	
n-オクタノール/水分分配係数 (log 値)	log Pow: -0.46 (25 °C)
土壤中の移動性	
成分	
シプロコナゾール:	
環境中の分布	中程度
土中での安定性	消失時間: 100 - 124 d 消失割合: 50 % (DT50) 製品は持続性ではない。
オゾン層への有害性	
非該当	
他の有害影響	

成分

シプロコナゾール:

PBT および vPvB の評価結果 物質は、難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) ではない。

1-(メチルチオ)ドデカン

PBT および vPvB の評価結果 物質は、難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) ではない。

内分泌かく乱の可能性

物質には内分泌かく乱特性はない。

N-メチル-2-ピロリドン

PBT および vPvB の評価結果 物質は、難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) ではない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物

薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。廃棄物を下水へ排出してはならない。可能ならば、廃棄や焼却処理より再利用する方が好ましい。

汚染容器及び包装

リサイクルできない場合は、地域の規制に従って処分する。

残りの内容物を空にする。

容器は3回すすぐ。

空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

空の容器は再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送

国連番号

UN3077

国連輸送名

ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.
(CYPROCONAZOLE)

国連分類

9

容器等級

III

ラベル

9

環境有害性

該当

備考

この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

航空輸送

国連番号

UN3077

国連輸送名

Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s.
(CYPROCONAZOLE)

国連分類

9

容器等級

III

ラベル

Miscellaneous

梱包指示(貨物機)

956

梱包指示(旅客機)

956

環境有害性 該当
 備考 この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

海上輸送

国連番号 UN 3077
 国連輸送名 ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (CYPROCONAZOLE)
 国連分類 9
 容器等級 III
 ラベル 9
 EmS コード F-A, S-F
 海洋汚染物質 該当
 備考 この製品は、単一または内部パッケージあたりの正味量が液体の場合は 5 L 以下、または固体の場合は単一または組み合わせパッケージに正味質量が 5 kg 以下でパッケージされている場合、免除の対象となる可能性がある。

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当

国内規制

特定の国内規制については、「15.適用法令」を参照

緊急時応急措置指針番号 171

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのために、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいている。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性がある。

15. 適用法令

関連法規

農薬取締法

登録番号 第21964号

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
N-メチル-2-ピロリドン	136

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質(既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質(新規届出化学物質)

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2(則 34 条の 2 別表2)

化学名	含有量(%)	備考
N-メチル-2-ピロリドン	>=0.1 - <1	-

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

皮膚等障害化学物質(労働安全衛生規則第 594 条の2)

非該当

がん原性物質(労働安全衛生規則第 577 条の2)

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一(危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高压ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第 2,3 条危険物告示別表第 1: 有害性物質

航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: その他の有害物

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 有害液体物質には該当しない。

個品輸送 海洋汚染物質

水質汚濁防止法

指定物質(法第2条4項、施行令第3条の3)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含む。2 項には政府による GHS 分類結果が反映されているため、11 項及び 12 項の試験結果と合致しない場合がある。

JIS Z 7252, JIS Z 7253 2025 に準拠

記載内容の取扱い 製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。

当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。

その他の略語全文

ACGIH 米国。ACGIH 限界閾値(TLV)

日本産業衛生学会(許容濃度) 許容濃度等の勧告 - I.化学物質の許容濃度

ACGIH/ TWA 8 時間、時間加重平均

日本産業衛生学会(許容濃度) / OEL-M 許容濃度

日本産業衛生学会(許容濃度) / OEL-C 最大許容濃度

日本産業衛生学会(許容濃度) / OEL-C 最大許容濃度

改訂履歴

改訂年月	項目	改訂箇所および内容	改訂理由
2026年4月 (第15版)	1項	使用上の制限追加	安衛法改正による見直し
		急性中毒の緊急問い合わせ先	Syngenta による記載方法の見直し
	2項	安全対策 追加(P203) 削除(P201,P202)	JIS 改正による見直し
		応急措置 追加(P317,P318,P319) 削除(P312,P308+P313)	
	3項	組成記載変更	Syngenta global データ改訂による見直し
	4項	急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状追加	Syngenta global データ改訂による見直し
	5項	有害燃焼副産物追加	Syngenta global データ改訂による見直し
	7項	安全取扱注意事項記載内容追加	Syngenta global データ改訂による見直し
	8項	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度 化学物質及び出典年度追加	Syngenta global データ改訂による見直し
	11項	成分データ追加(1-(メチルチオ)ドデカン.N-メチル-2-ピロリドン)	Syngenta global データ改訂による見直し
	12項	成分データ追加(1-(メチルチオ)ドデカン.N-メチル-2-ピロリドン)	Syngenta global データ改訂による見直し
	15項	優先評価化学物質追加 (N-メチル-2-ピロリドン)	化審法改正による見直し
		名称等を通知すべき危険物及び有害物追加 (N-メチル-2-ピロリドン)	安衛法改正による見直し
16項	その他の情報文言追加	JIS Z 7252, JIS Z 7253 2025 に準拠	